

現地決済型ふるさと納税

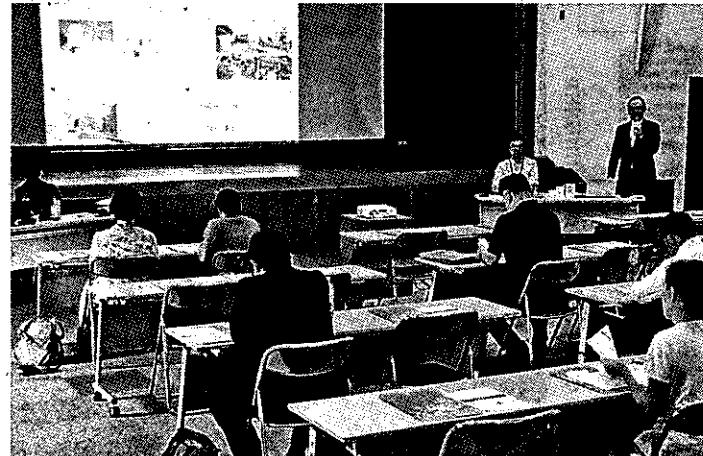
尾鷲市
説明会

事業者に加盟呼びかけ

尾鷲市は11日、市中にあると納税「尾鷲市あると応援納税」の事業者向け説明会を開き、加盟を呼びかけた。

市は来訪者が滞在中にあると納税を申し入れを計画。同サービスは加盟の市内店舗に設置された申し込み用QRコードからスマートフォンであると納税を申し込み、その場で返礼品の電子クーポンを受け取ることがで

る。専用の決済用QRコードを置き、寄付者はスマートフォンでQRコードを読み取って市に寄付。寄付額30%分の電子クーポンが即時に発行され、すぐ



現地決済型ふるさと納税の事業者説明会(尾鷲市中央公民館で)

控除が受けられ、返礼品も受け取れる制度。

2023年度は約4万人から3億3千万円の

寄付があり返礼品を通じて市の認知も進む

が、それは加工業が中

心。インターネットで市内にインターネットを持つ中部電力ミライズコネクトが運営支援に当たる。

西村美克さんと税担当調整監は「あると納税は応援したい自治体に寄付をして税

ト事業開発本部の佐伯優一課長、DMCai izuの中町剛さんがト事業内容を説明。旅行者が気に入ったまちにふるさと納税をして、滞在中の体験やサービス(クーポン、有効期限180日)を返礼品として受けとる仕組みと、全国の自治体で採用が進む状況を紹介した。

各店や宿泊施設、事業所に専用の決済用QRコードを置き、寄付者はスマートフォンでQRコードを読み取って市に寄付。寄付額30%分の電子クーポンが即時に発行され、すぐ

きる。来年1~2月に地のつくりは各店を訪問して加盟

感があります。この修業日記

は全国という広い範囲なので

存在価値が希薄になってしま

い。

感があります。この修業日記

は全国という広い範囲なので

存在価値が希薄になてしま

い。

感があります。この修業日記

は全国という広い範囲なので